

日時：平成 30 年 5 月 26 日（土）15:00~16:00

場所：小規模多機能ホームみなみだいら リビング

1. 参加者

- ご利用者 : 2名
- ご家族 : 2名
- 関係機関等 : 地域包括支援センター すずらん 所長
- スタッフ : サテライト統括課長 / CM / 管理者

2. 登録状況

- 登録数 : 22名
- 入院者 : 1名
- 利用契約解除 : 4名(3~5月)
- 新規登録 : 2名(6月から)
- 待機 : 1名
- 利用者介護度 :

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
0	0	3	5	3	6	5

平均介護度：3.1

3. 利用状況

月	サービス種別	延べ数	1日当たりの平均利用数
前年度 (平均)	通い	:	約 13.1 名
	宿泊	:	約 5.5 名
	訪問	:	約 23.0 件
5月	通い	: 349	約 11.2 名
	宿泊	: 169	約 5.5 名
	訪問	: 631	約 20.1 件

- ・ここ数か月で解約解除者が相次いだ。4名の方が死去。入院中だった方も出来る限り在宅での生活を経られたこと、お看取りで関わらせて頂く中でお亡くなりになる方もいたことをご紹介。
- ・お看取りに近い方、医療依存度の高い方の支援が続いている。入居を控えている方もおり、今年に入退所、入れ替わりの動きが夏季を通して年末まで続くことが予想。
- ・介護度の分布としては、高めの方が多くを占めていたものが、少しずつ横並びの状態となりつつある。高めの方が退所。新規ご契約の方が比較のお元気な方が多いことに起因している。
- ・『宿泊』件数はやや減少の傾向。宿泊を多くご利用していた方のサービスが終了したことが大きな要因。
- ・自宅で、地域でどんな支援ができるか。それこそが小規模多機能の醍醐味であり、求められている部分。事業所外でのサービス。特に『訪問』には依然多くの時間を割き、力を注いでいる。

4. 報告

- ご家族協同での活動をもっと行いたい。今までも外出、外食、事業所内でのイベントへはご家族に参加して頂いていたものもあったが、さらにお誘いをさせて頂き、事業所へ足を運んで頂く機会、ご家族同士が顔を合わせる機会を設けていきたい。食事パーティは当事業所の得意分野。ご家族、ボランティアの方、時折他事業所にも参加して頂き、いつも盛り上っている。
- 事業所を知って頂く、身近に感じて頂く試みとしては、広報『みなみだいら通信』を毎月発行。活動の様子を紹介している。
- 地域での活動が今年のテーマでもある。事業所として、もっと地域へ出向くことを目標に掲げている。市内一斉清掃へをはじめ、地域の家族会、カフェ、勉強会、懇談会、イベントへも多く参加をしていきたい。相馬様より、今月スタートの『ぬくもりテラス』のご紹介。住み慣れた地域で元気に暮らせるために、気軽に出かけられ楽しく仲間づくりをする場としてカフェを開催。南平駅西交流センター1階の集会室にて毎月第4土曜日 13:00~17:00。当事業所も参加している。
- それぞれの中学校地区での地域おこしの取り組み『アクションプラン』。南平地区では、南平体育館での『ななお BON まつり』が毎年好評であることが相馬様より。当事業所も何らかのかたちで関わらせて頂きたい旨を伝える。(後に出店が決定)現在は、1中地区の蚕の育成プログラムに参加。幼虫~成虫~繭になるまでを事業所にて。ご利用者、ご家族、ボランティアの方々、職員と、皆様で懐かしさで大いに盛り上がっている。

5. その他

- 包括所長より、日野市が“おれおれ詐欺”など詐欺件数が東京都でワーストであること。かなり悪質なものが増えていることのご報告。お一人住まいが狙われやすく、当事業所でも、やはり独居の方で、新聞業者や健康食品、飲料配達業者等との間で契約を結ばれてしまわれているケースを紹介。通話録音システムの利用や、消費者センター、包括支援センター等相談窓口の情報あり。
- 日野市としても『食べること飲み込むこと(摂食嚥下)機能支援事業』として、食に力をいれている。咀嚼、嚥下が困難になった方へのお食事について。当事業所としても、そのようなご利用者が多く、細かく刻む、とろみを使用する等し、工夫を凝らしている。外部に委託しムース状の食事を取り寄せたりもしている。
しかし各家庭でそのような食事の形態を用意することは難しい。1食のみとなるとその手間も負担となる。はつらつ食品「ヘルシーネットワーク」の紹介。営業所は万願寺にあり、ソフト食を多く揃え販売をされている。配達も可。

次回：7月28日(土) 14:00~15:00
参加包括支援センター：いきいきタウン様

以上